



「高瀬舟」

倉敷市立船穂小学校 校長だより

令和7年12月5日 No. 154

「楽しい」をつくるのは自分の力！

たの
「楽しい」は、
ま
待っていても
こ
来ない



12月の児童朝会は、インフルエンザの広がりを防ぐため、放送で行いました。以下、私が子どもたちにした話題です。

みんなが学校で「楽しいな！」と感じる時間はどんな時ですか？友達と笑い合った時？授業で「わかった！」とひらめいた時？休み時間に思いっきり体を動かした時？

でも、反対に、「つまらないな」「嫌だな」と感じる時もありますよね。難しい勉強だったり、時には友達とケンカをしてしまったり。でも、そんなの嫌です。楽しい方がいいですよね。

校長先生は知っています。「楽しい」は、誰かが持ってきてくれるものではない！ということです。

例えば、雨が降って休み時間が教室遊びになった時、「つまんなないな。早く晴れないかな」と窓の外を見ているだけの人と、「よし、この時間で面白い遊びを見つけよう！」とすぐに動き出す人がいます。

砂場があったとします。Aさんは、「誰も遊んでいないからつまらない」と言って、ただ座っています。Bさんは、「よし、世界一大きな山を作ろう！」と、一人でもスコップで砂を掘り始めました。すると、その楽しそうな姿を見て、Cさん、Dさんと、どんどん仲間が集まってきたました。

Aさんが楽しい待っていたのに対し、Bさんは自分で作ったんです。

「楽しくする力」って、特別な魔法ではありません。毎日の内でみんなが使える、たった2つの力です。

1つめは「まず、自分から動く」力。

何かを始める時、「誰かがやってくれるのを待つ」のではなく、「まず自分からやってみることです。クラスの係活動で、「どうせつまらない」と思う代わりに、「この係をみんなが笑顔になるように変えてやろう」と考えて、工夫してみることです。自分から動くと、新しい発見に気づき、「楽しさ」に変わります。

2つ目は「見方・考え方を変える」力。

どんなことも、「いやだ」というマイナスの見方と、「おもしろそう」というプラスの見方があります。面倒な掃除の時間も、「きたないなあ」と思う代わりに、「ピカピカにして、みんなを気持ちよくさせてあげよう！」と考えてみます。これは、「幸せ」を見つけ出す力とも言えます。

学校は、みんなが「楽しい」を見つけ出す力と、生み出す力を練習する場所です。さあ、今日から「誰かに楽しませてもらう」のをやめて、「私が、この場所を楽しくする！」と心の中で決めてみてください。その一歩が、きっとみんなの毎日をキラキラと輝かせます。

校長先生は、みんなが「自分から動いて」見つけた楽しいことや、新しく挑戦したことを、ぜひ聞かせてもらいたいと思っています。